

県民会議の皆様から寄せられたご寄付は、  
こどもや学生の様々な体験に活用されています。



いつもあたたかいご支援、ありがとうございます。

皆様から寄せられたご寄付は、以下のOISTが実施する科学ワークショップやイベント等のアウトリーチ活動の一部として活用されています。

## SCORE! サイエンスin沖縄:起業のための研究

高校生が、自らが考案した科学技術のプロジェクト(ビジネスと科学のアイデア)を制限時間内に発表し、他の高校生の仲間と競い合うイベント。

令和7年度は、9校43名が参加し、国立沖縄工業高等専門学校が発表テーマ「沖縄県産コーヒー残渣マイクロエマルジョン技術を応用した高機能バイオコスメ「Café de Okinawa」の開発」で優勝！優勝者には、米国研修旅行が贈られました。

県民会議では入賞賞品費及び研修費用を支援しました。



## SHIMA 2025

沖縄県内の高校生を対象とした科学ワークショップ。

「持続可能な開発目標(SDGs)と島の持続可能性」をテーマに17名が参加し、恩納村の地域協力のもと科学研究の視点から同テーマに関する多様なトピックについて講義やハンズオン活動が行われました。

県民会議では、離島参加者(石垣島2名)の航空費用を支援しました。

(参加者の声)

・プログラム参加前とは、サンゴ礁についての考え方が大きく変わったし、赤土等の流出対策についても学べた。

・以前よりもSDGsの理解を深めることができた。科学の力が地球環境を守ることに大きく貢献していることがわかった。

・持続可能な社会を実現するための今の科学の研究や様々な問題に対する自治体や会社の取り組みを知ることができ、自分の将来の目標を定めることが出来た。



裏面に続く ➡

## HiSci Lab(ハイサイ・ラボ)

沖縄県内の理系に興味のある女子高生を対象に科学ワークショップを1泊2日で実施。  
令和7年度は、県内から17名が参加しました。  
県民会議では、ワークショップ開催に係る経費を支援しました。

### (参加者の声)

- ・科学的視点から音について体験しながら学べたのが楽しかった。進路についても今悩む時期だからキャリア講演を聞けてすごくためになった。
- ・どの講義も充実したもので大変勉強になりました。今回の経験を今後の進路での選択肢として活かしたいと思います。
- ・今回のハイサイラボでの活動を通して、普段では関われないような人と関わり、友達も増え、人としても成長を感じられたと思います。今回のプロジェクトの全てにおいて、みんなと楽しく過ごせて、本当に参加してよかったと思います！



## iGEM Okinawa(アイジェム オキナワ)

OIST、琉球大学、沖縄工業高等専門学校で結成されたチーム「iGEM Okinawa」が合成生物学の世界大会に沖縄から初めて出場しました。同大会で、地元マンゴー農家の問題となっている害虫・アザミウマを早期に発見できるシステムを開発し、最高賞の金賞を受賞しました。

県民会議では、地域に根ざした学術活動の一環として同団体への寄付を行いました。



これからも安定して支援活動が続けていくためには、皆様の募金のご協力が必要です。  
お問い合わせ・もっと知りたい方は、下記連絡先までご連絡ください。  
温かいご支援をよろしくお願いいたします。